

指定管理者評価シート			
事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	厚別区市民部地域振興課(895-2442)

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市厚別西地区センター	所在地	厚別区厚別西4条4丁目10-1
開設時期	平成5年11月	延床面積	134,657㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	ホール、集会室(2室)、和室(2室)、実習室(1室)、図書室(1室)		
2 指定管理者			
名称	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団		
指定期間	令和5年(2023年)4月1日～令和10年(2028年)3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由: 当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことによって、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数: 1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位			
	施設数: 1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和7年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価			
1 業務の要求水準達成度						
(1) 統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 ●公平な利用を推進する。 如何なる利用者に対しても、札幌市市区民センター条例の遵守をお願いしている。 ●サービス水準の維持・向上 利用者、地域の方々に積極的に声をかけ、コミュニケーションを大切に取り組んだ。 アンケートを実施し、利用者からの意見を聞く機会を増やした。 ●子どもの成長と子育てを地域で支え合う。 子育て支援ネットワーク会議、札幌養護学校運営協議会などに参加。 子ども向けの講座や、イベントも積極的に実施。近隣小学校の校外学習として館内見学・図書室見学・質疑応答の時間などを設け地区センターへの興味と理解を深めるような学習への取組に協力している。その後、図書室への個人利用などへ繋がっている。 ●高齢者の力を地域に発揮するための居場所づくり R5年度より「シニアカレッジ」を立ち上げた。センターだけではなく地域全体での運営を目指し、運営委員会を立上げ地域の皆様と共に高齢者の方々の生涯学習・多世代交流・新たな趣味の発見など生活に根付いた内容を考案している。	▼地区センターの役割を全うするため、生涯学習の助長や地域課題へ関心が向けられるような取り組みを積極的に行った。 ▼利用率の向上を目指し、各世代向けの幅広い各講座等を実施した。 ▼日常的に利用者とのコミュニケーションを心掛け、より多くの声を拾えるよう日々意識し、できる限り反映するよう務めた。	A	B	C	D
	▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績					

障がい、世代を超え開かれた居場所づくり
子どもからお年寄り、障害の有無に関係なく利用いただけるような環境作りを心がけている。その場に応じて臨機応変に柔軟な対応を心がけ、利用者の方が不安なく安心して利用できるような体制を作る。車椅子で行ける場所がないという児童デイサービスの子たちに、車椅子でも入りやすいホールで実施する読み聞かせ会に声掛けする試みも行った。貸室の抽選に関しては、できる限り本人に来館していただいているが、一任された際には不正がないよう職員が必ず複数で公正にクジで当落を決め、速やかに結果を報告した。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

- ▼二酸化炭素排出量の削減
①未使用の部屋の照明・暖房等のオン、オフの確認の徹底。
②ブラインドの適切使用による冷房負荷の軽減。
③空調の効率的運転の実施。
④空調設備・電気・ガス機器の点検、適切なメンテナンス。
⑤駐車場におけるアイドリングストップの呼びかけ。
⑥フードドライブを実施し、ご家庭で食べきれない食材等を子ども食堂へ繋ぐ役割を担った。
▼廃棄物の排出抑制
①効率的な印刷・コピー機等による紙使用の削減。
②紙リサイクルの促進。
③合成洗剤の使用を止め、環境への負担の少ない成分の洗剤に切り替え。
④未使用の鉛筆・古切手・ベルマークの回収。
古切手とベルマークは厚別通小PTAの方々に回収してもらっている。リングブル・未使用の鉛筆は、社会福祉協議会へ届けた。
⑤ゴミ減量とゴミ分別の徹底による廃棄物の排出抑制。
▼館内各所に節電のご協力とお願いのポスターを掲示し、貸室使用後冷暖の切替をこまめにした。
▼OA用紙、文具事務用品、照明、トイレトペーパー等についてはグリーン購入ガイドライン指定用品を購入。
▼丁寧な分別や、廃棄の工夫によりごみ削減に務めた。
▼回収ボックスの利用をセンターだよりなどでも呼びかけ、牛乳パックや古新聞の回収を積極的に務めた。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

職種	配置部署	職務	雇用形態	数
館長	事務室	統括・事務	常勤	1
副館長	事務・図書	事務・経理・図書	常勤	1
図書司書	図書	図書 (副館長兼務)	常勤	(兼務)
事務	事務室	事務・講座	非常勤	4
図書	図書	図書・講座	非常勤	4
夜間事務	事務室	事務・講座	非常勤	5
清掃	全館	清掃・講座	非常勤	3

▼毎年、障害者差別解消法に関する研修を実施している。
▼優遇してほしい等の要望がきた際には繰り返し丁寧に説明し、理解を求めた。

▼光熱費の削減に関しては、使用していない部屋の消灯や暖房の消し忘れがないかのチェックを徹底した。
▼サークル会議で利用者の方にはごみの持ち帰りの協力をお願いし、ゴミの削減に務めた。
▼図書室窓前にあさがおでグリーンカーテンを設置した。

▼非常勤職員を増員し、十分な有休を取得できる環境を整えながら、必要な人数を配置できる体制づくりを行っている。
▼部署に関わらず全員で分担し年間を通して積極的にイベントや講座を実施した。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼仕様書に基づいた業務から逸脱しないよう、その都度確認し地域振興課と連携をとりながら職員の配置基準を厳守した。

▼研修計画に基づいて職員研修を実施した。

- ・4月 クラウドキャンパス
- ・5月 図書会(行事や展示について、日常業務の疑問点)
- ・5月 個人情報の適正な取扱いについて
- ・6月 組合員基礎研修
- ・6月 安全推進(熱中症対策)
- ・6月 図書スキルアップ(行ってみたくなる図書館の作り方)
- ・8月 救命救急講習
- ・8月 カスタマーハラスメント研修
- ・9月 避難所運営研修
- ・10月 図書スキルアップ(接遇)
- ・11月 図書 児童サービス研修
- ・11月 図書会(日常業務での疑問、知識)
- ・11月 防犯訓練(不審者対応)
- ・2月 障害者差別解消法
- ・2月 札幌市環境マネジメントシステム(EMS)について

▼毎月1度、職員全員が集まり会議の中で業務について話し合いをおこなっている。必要に応じて、部署ごとの会議も行っている。

▼朝礼、夕礼を毎日実施。

その日の利用状況、翌日の利用状況の確認など情報を日勤と夜間で引継ぎ、必ず毎日共有できるようにしている

▼日報にて日々情報を共有し、確認したら押印して共有できたかの確認を行っている。

▼様々な研修を受けることで、職員のスキルアップをはかっている。利用者からの要望には柔軟に対応し、必要に応じて地域振興課と連携をはかり適切な対応を心がけた。

▼月に1度、当社が運営する指定管理現場の責任者が集まり、各事案などを共有し事故や事件がおきないよう事前対策や速やかな対応ができるような体制を作っている。

▼不審物や異変がないか、館内・外の見廻りを日々数回行っている。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

- ①機械警備業務
 - ②自家用電気工作物保守管理
 - ③自動ドア保守管理
 - ④ボイラー設備保守管理
 - ⑤消防設備保守管理
 - ⑥舞台装置保守管理
 - ⑦除・排雪業務
 - ⑧一部定期清掃
 - ⑨エレベーター保守管理
 - ⑩緑地管理業務
 - ⑪予約システム運用業務
 - ⑫建築設備定期検査業務
 - ⑬昇降機保守点検業務
- ・仕様書に定められた作業内容・回数を遵守し、報告書等は保管している。

▼点検結果で指摘事項があった際には、速やかに地域振興課に報告したほか、必要に応じ、見積を取った。契約時には事前承認を得て進めた。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 5月21日(水)	・令和7年度運営委員名簿 ・令和6年度 事業報告 ・修繕要望報告 ・令和7年度 講座・地域交流事業計画 ・その他
第2回 8月27日(水)	・令和7年度 4月～7月事業報告 ・令和7年度 4月～7月講座・地域交流事業報告 ・令和7年度 8月以降講座・地域交流事業予定 ・その他

▼運営協議会では、できるだけ詳しくセンターの状況を説明できるよう務めた。経営や利用状況だけでなく、困りごとや些細なことも共有することで改善案に繋がることもあった。

▼サークル利用者の方からは、率直な意見を聞かせていただき、今後の運営の参考にした。

第3回 12月15日(月)	・令和7年度 8月～11月事業報告について ・令和7年度 8月～11月講座・地域交流事業報告 ・令和7年度 12月以降講座・地域交流事業予定 ・その他	▼修繕要望箇所が増えたので、一覧を作成し、共有しやすいよう配慮した。 ▼毎回、議事録は誰でも閲覧できるように館内で掲示することで透明性のある運営を心がけた
第4回 3月16日(月)	・令和7年度 12月～2月事業報告について ・令和7年度 12月～2月講座・地域交流事業報告 ・令和7年度 3月以降講座・地域交流事業予定 ・その他	
<協議会メンバー> 厚別区地域振興課 3名、厚別西まちづくりセンター所長、厚別西町内会連合会会長、厚別西厚信会会長、厚別区更生保護女性会委員、民生委員・児童委員、サークル所属利用者(2名)、こども食堂ミライキッチン代表、厚別西地区センター館長・及び副館長 13名		
▽ 財務(資金管理、現金の適正管理) ▼労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団北海道事業本部で、指定管理を受けた札幌市のコミュニティ施設の経理処理方法を統一している。 ▼指定管理業務に係わる収支については、独立した帳簿及び預金口座で管理している。 ▼入出金が発生する度に、当日出勤の2人で金額を確認し、不正や間違えがないような管理体制を徹底している。 ▼現金等の管理も不適切な扱いとならぬよう職員にも指導を徹底し、適切な管理水準を満たすようにした。 ▼毎日、過不足が発生しないよう出納と金種を照らし合わせ、金額を確認し、記録している。月末には責任者が再度チェックを行っている。		
▽ 要望・苦情対応 ▼館内に意見箱を設置し、利用者の要望・苦情受付を書き込んでもらう体制をとっている。 ▼「利用者の声」用紙には、回答を希望するか、否かについて意思表示できるようにしてあり、内容は必ず職員が目を通し、話し合い改善に向けている。 ▼必要に応じ札幌市に報告、相談し、指示を仰ぐようにしている。 ▼窓口業務において、気軽に何でも相談できるよう普段から積極的に声掛けを行い、利用者と職員の信頼関係を築き、実際に相談を受けた際には行政や民生委員などと連携し適切な対応を実施している。		
▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施) ▼日常業務に関しては、勤務した職員が日報を作成している。 ▼11月に利用者アンケートを実施し、その結果を職員全員で共有し、館内にも掲示。指定管理者自己評価にも反映している。 ▼利用者アンケートの要望については、回答を載せて対応出来るものはすぐに実施している。 ▼講座・地域交流事業の際に参加者に対してアンケートを実施し、その中で参加者の満足度・要望・意見を集め、次の企画の参考にしている。 ▼札幌市に対する報告書の提出は定められた形を遵守して実施した。 ▼各種規定、報告書・収支関係書類・経理関係書類等は定められた保管期間に従い保管している。 ▼令和7年度に受けた検査 実施検査 令和8年3月10日(例年2回だが、今期は1回)		
▼毎月、同指定管理団体6館が集まり、相互監査を行っている。その後、更に北海道事業本部でチェックが行われ、最終的に東京本部に送付。不備がないよう何重ものチェック体制となっている。 ▼ここ数年、大きな苦情は受けていない。運営協議会やサークル会議などで日々の要望や気付きを拾い、大きな不満に繋がらないよう心掛けている。日々のコミュニケーションも大切にしている。 ▼利用者アンケート結果は職員間で共有し、結果を運営に組み込んでいる。 ▼アンケート内容は状況に合わせて、適切な質問内容になるよう見直しをはかっている。 ▼運営協議会でもアンケート結果を結果について分析した内容と合わせて共有し、意見を求めた。		

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む) ▼施設で働く職員に対し、最低賃金1,075円(令和7年10月4日発効)を上回る時給を支給した。 ▼職員全員が有休を100%消化となった。 ▼経営の見直しをはかり、前年度は支給できなかった一時金を支給した。 ▼産業医より定期的に健康に関する通達や研修が行った ▼10月に就業規則の改定を行い、労働基準監督署に届け出た。 ▼労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。 ▼施設で働く職員に、時間外労働または休日労働させる場合は、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、労働基準監督署へ届けた。 ▼雇入れ時に健康診断の提出を厳守している。 ▼全ての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。 ▼1年に1回定期健康診断を実施。(任意対象者あり) ▼1年に1度、職員全員がWEBにて回答できるストレスチェックを実施。必要に応じて産業医との面談等ケアができる体制が整っている。今年度は面談対象者はなし。 ▼職員一人一人のヒアリングを実施し、現在の雇用内容や日常業務での困りごとなどがないかを聞き取りし、改善に務めた。 ▼公正な業務執行を確保するため、内部通報制度を設け通報者や調査協力者が不利益な扱いを受けない様、法令に基づき不利益取扱の禁止や秘密保持の徹底を図っている。 ▼第三者委託により実施している業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。	▼職員の有休消化を促進し、働きやすい職場づくりに努めている。 ▼労働関係法令を遵守した運営に努めている。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">労働関係法令を遵守し、適切な雇用環境の維持向上に取り組んでおり、要求水準を達成している。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	労働関係法令を遵守し、適切な雇用環境の維持向上に取り組んでおり、要求水準を達成している。			
A	B	C	D								
労働関係法令を遵守し、適切な雇用環境の維持向上に取り組んでおり、要求水準を達成している。											
(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) ▼利用者の安全については、館内・館外周辺に利用者の安全を脅かす状況がないかをチェックしている。 ▼拾得物扱いについては、台帳に日時・場・特徴などを記載し職員全員がわかるようにしており、いつ問い合わせがきても対応できるようサービス向上を務めた。また、引き取りが来ない拾得物については年に数回、館内に展示し、持ち主がみつかるよう努めている。 ▼損害賠償保険は、対人保障1人につき1億円、1事故につき4億円のコースに加入。また「厚別西地区センター」として講座・事業参加者のレクリエーション保険に加入。厚西シニアカレッジのセンター外での活動についても、別途社会福祉協議会で行事保険をかけている。 ▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) ▼警備・保守点検、定期清掃などは第三者委託により実施。 ▼日常の館内清掃及び建物周囲の整備、備品管理、修繕箇所は可能な限り対応している。 ▼第三者委託先の決定は、各業務とも3社から見積もりを取り委託先を決定。また、業務の履行状況は現場確認及び点検結果記録書の提出などで確認。単発の業務については業務状況を写真で記録し、報告書を作成し提出している。業務履行に関しては各社と契約書締結、契約書内で法令順守を明記している。 ▼開館前に周辺に異変がないか日常的に点検を行っているほか、1日に3度駐車台数を確認している。(古紙回収ボックス内点検、外周の見回りも兼ねている。)不備を発見した場合は、職員間で共有し、必要に応じて地域振興課に報告・共有をしている。 ▼備品については、日常点検、清掃を実施するとともに備品管理台帳に基づき年1回点検を行い、数量及び使用可能状態を確認し点検記録簿を作成している。不具合については速やかに補修を実施。 ▼多目的トイレのトイレ呼出し設備の点検も毎日の点検項目に取り入れ実施、日報にチェック欄を設け報告事項としている。 ▼車いすの所在確認も1日に1度、日報の点検項目に追加し確認するようにした ▼駐車場の台数は、午前・午後・夜間とそれぞれ確認し記録している。	▼要求水準を満たす十分な保険をかけている。 ▼設備点検での結果は必要に応じて速やかに地域振興課へ報告している ▼日常的な点検と情報共有体制により、不具合箇所の早期発見と対応に努めている。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">仕様書に定めるとおり適正に実施しており、要求水準を達成している。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	仕様書に定めるとおり適正に実施しており、要求水準を達成している。			
A	B	C	D								
仕様書に定めるとおり適正に実施しており、要求水準を達成している。											

▽ 防災

▼利用者也参加型の避難訓練を実施。悪天候や冬季はロビーに避難誘導をした。職員の中でも役割分担を決め、誘導係や通報係など設定し実践した。避難訓練後は、外で消火器を使った消火訓練も行い多くの職員が実践した。
救命救急講習は、毎年参加した事がない職員が順次参加している。
▼AEDはバッテリー充電状況、電極パッドの状態を毎日点検記録している。
▼「避難所運営側研修」に参加し、厚別通小にて地域の方や先生方と共に備品確認や、実際の避難所を想定した運営方法をゲーム形式で学んだ。
▼警防情報連絡会議に出席し、地域と連携して防犯についての情報交換などを行った。
▼防災
▼緊急時対応について、マニュアルの周知徹底を行っている。消火器の位置、避難誘導の経路など自分が勤務中に起こった場合の誘導方法などを各自がシミュレーションし万が一に備えている。

▼地域と連携した防災意識の造成に努めている。

(4)事業の計画・実施業務

▽区民講座に関する学習機会の提供業務

	令和7年度計画	令和7年度実施
種 目	13	12
回 数	27	23
受講生数	184	139

講座名	募集 人数	参加 人数	達成率%	理解 度%	満足 度%
キャンドル講座	24	22	100%	114%	114%
親子クッキング	28	31	124%	125%	125%
カラダ軽やかアイス体操	20	18	100%	125%	125%
DIY講座「ステップラック」	8	5	71%	119%	119%
楽しむ己書	6	7	140%	119%	119%
睡眠とストレス	15	13	93%	125%	125%
DIY講座「モルックを作ろう」	5	5	100%	125%	125%
わたしのリフレッシュ講座	10	7	78%	125%	125%
防災クッキング	4	4	100%	125%	125%
キムチ講座	6	9	180%	125%	125%
手打ちそば体験講座	12	12	109%	125%	125%
手作り味噌講座	6	6	120%	125%	125%

▽地域市民の自主活動及び交流の支援業務

	令和7年度計画	令和7年度実施
種 目	20	36
回 数	87	179
受講生数	3,355	5,066

事業名	参加見込み 人数	参加実数	達成率%
ふまねっと	240	381	198%
出張ふまねっと	20	31	194%
ぐるんばお話し会	90	82	114%
厚西ジム	400	785	245%
うたごえサロン	221	273	154%
フロアカーリング	192	216	140%
厚西食堂×ミライキッチン	100	142	178%

▼ふりっばー掲載がなくなり、講座受講者が著しく減少。物価高も影響していると推察。実施回数を、昨年より控えた。

▼昨年より人数集めに苦戦したもの、内容の厳選や募集人数を少なくするなど、現状を見極めてできる限り実施できるよう試みた。定員には満たなかったものの、イス体操と己書はその後サークルとなり現在も活動を継続中。親子クッキングは人気の講座となっている。
▼職員が講師になることで、講師料の発生や融通が効くなどの効果もあった。

▼講座を減らした分、地域交流事業は前年度よりも多く実施。各世代向けの様々なイベントを実施した。

▼毎月行っているふまねっとや厚西ジムやカーリングは人数も増えてきており、安定した参加人数となっている。

A	B	C	D
講座受講者から理解度、満足度ともに高い評価を得ている。多世代を対象にした講座や利用者の希望に応えた講座を実施しており、要求水準を達成している。			

<地域交流事業>
計画した講座数・回数等を大幅に上回って実施している。ふまねっとや厚西ジム、うたごえサロンなど安定的な事業も増え、貸室利用にも繋がっている。その他も高い達成率のものが多く、また謎解きゲームなど新たな試みも行われており、要求水準を達成している。

フォトサークル「トルサ」作品展	600	720	150%
親睦麻雀大会	72	79	136%
フリーマーケット	48	50	132%
ふれあい健康フェスタ	50	38	95%
厚西シニアカレッジ	560	473	106%
こわいお話会とおバケ図書室	35	31	111%
フロアカーリング大会	32	36	138%
ミニバレーボール大会	24	24	126%
卓球大会	20	20	125%
モルック体験会	48	49	129%
モルック大会	12	12	120%
謎解きゲーム	5	14	350%
町内ごみ拾い	10	16	200%
タイムスリップコンサート	120	109	114%
厚別通小学校社会科見学	76	76	125%
秋まつり	300	232	97%
厚別北小学校施設見学	83	83	126%
厚別西小学校施設見学	38	38	127%
図書まつり	60	72	150%
櫻田智也氏講演会	50	46	115%
ダンボール迷路	50	68	170%
ディスコパーティー	50	10	25%
文化祭	250	355	178%
札幌養護学校作品展示(ロビー)	300	350	146%
ぬいぐるみお泊り会	8	9	150%
図書室お仕事体験	18	17	121%
同窓会&交流会	20	34	213%
3世代交流新春カルタ大会	100	134	168%
あつべつ西紙袋ランターンフェスティバル	500	800	200%

▽地域の憩いの場づくり活用事業

	令和7年度計画	令和7年度実施
種 目	7	7
回 数	824	823
参加人数		4,810

▼うたごえサロンは、利用者からの要望によりR7.11月より月2回の開催に増やした。多くの方が来れるよう、平日午前・土曜午後に設定したが、どちらも参加人数は増えてきている。

▼長期休みにこども食堂とのコラボ食堂を開催。児童会館や老人クラブからの参加も多い。少しずつ周知が広まってきた。

▼お盆は貸室利用がほぼないため、利用者呼び込むために謎解きゲームを初めて実施。予想以上の参加があったため、次年度以降も継続していく。

▼参加者からの要望があり、以前センターで実施していた子育てサロンの同窓会&交流会を実施。以前の職員も参加し、成長したこともたちとの再会や現在育児中のママが先輩ママに子育て相談をするなど交流にも繋がっていた。

▼図書室の利用者の方の繋がりがから、作家櫻田智也氏の講演会を実施。3冠達成の話題の作家さんだったので、参加者からも好評だった。

＜憩いの場づくり施設活用事業＞
種目変更等の工夫して事業を実施しているほか、ロビー利用も前年より増加しており、要求水準を達成している。

種目	実施日総数	総時間	利用実数
バドミントン	24	76	146
バスケットボール	22	67	212
卓球	21	61	71
ファミリー	16	61	36
囲碁・将棋	22	66	46
ロビー開放 (一般)	359	4,308	3664
ロビー開放 (自主学習)	359	4,308	635

▼毎年、種目と時間を見直しシャッフルしている。前年度のウォーキング開放に代わり、ファミリー開放を利用しやすい日曜午後に差し替えたが、1年を通してあまり利用には繋がらなかった。
▼厚別西児童会館が使用不可の期間があったので、その間の子どものロビー利用が多かった。

▽図書業務

	令和6年度	令和7年度	増減
開室日数	280	279	-1
貸出数	74,090	67,849	-6,241
返却数	74,943	68,714	-6,229
レファンス件数	553	917	364

▼近隣小学校・中学校の図書司書さんやボランティアさんと「図書協議会」を立ち上げ、貸出状況や課題を共有し、相互効果で読書意欲向上に繋がれるよう年に数回協議会を実施している。
▼本を見て作った作品の展示や、配架を工夫し、利用者が来たいと思える図書室になるよう工夫を凝らしている。
▼料理や体験を通して本への興味に繋がれるような講座(親子クッキングなど)やイベント(おかげ図書室など)企画し、実施した。
▼同団体が運営する他館と年に2回、「図書会」を実施し、日常業務での困りごとや展示の工夫などの情報交換を行って互いの運営の参考としている。
▼利用者の方の繋がりがから、人気作家の講演会を開催できた。サインを求める列もでき、好評だった。
▼昨年に続き「図書まつり」の内容を見直して実施した。

＜図書館業務＞
図書館協議会の立ち上げなど、様々な工夫を行っている点、またレファンス件数増加している点は、高く評価できる。その一方で減少基調にある貸出・返却数の中で、読書意欲向上につながる事業をさらに進めていただきたい。

月	テーマ	開催期間
4	(児童)春・新学期 (一般)春が来た	3月29日～4月24日
5	(児童)こどもの日大きなあれ (一般)大阪・関西の本	4月26日～5月22日
6	(児童)走る!カラダを動かそう (一般)万国博覧会～こんにはは♪	5月24日～6月20日
7	(児童)こわいほん (一般)怖い本	6月28日～7月24日
8	(児童)夏! (一般)海へ山へ	7月26日～8月21日
9	(児童)空をみあげて (一般)月・星	8月23日～9月25日
10	(児童)外国の本 (一般)スポーツの秋	9月27日～10月24日
11	(児童)秋・おいしい秋 (一般)芸術の秋	10月25日～11月27日
12	(児童)クリスマス (一般)ミステリー	11月29日～12月25日
1	(児童)冬・雪 (一般)和の世界	12月27日～1月22日
2	(児童)くらべてみよう (一般)珈琲とお茶	1月24日～2月26日
3	(児童)できるかな!! (一般)短い時間で読める本	2月28日～3月26日

生涯学習に関する市民の自主活動及び交流の支援業務 ▼厚シニアカレッジの参加者は、カレッジでの活動を通して交流を深め自分たちでサークルを立ち上げたりしている。また、今季では自分たちで麻雀大会を開催し、自主活動の幅を広げている。 ▼フロアカーリングの参加を通して交流を深めた参加者たちが、札幌市内で行われたフロアカーリング大会に参加し32チーム中6位と好成績をおさめた。	▼シニアカレッジの社会見学では、全員が安全に参加できるように必要に応じてご家族の方とも連携をはかり、サポートした。	＜支援業務＞ 事業を通して、地域住民の自主活動及び交流に繋げており、適切な支援を行っている。																																																																														
▽ 地域相談業務 ▼札幌養護学校運営委員会での繋がりが、冬休み中の先生方向けの研修で、児童の療育の参考にもなるような講習ができないかとの相談があった。歩行機能改善の効果も期待され、コミュニケーションもはかれる「ふまねっと」を提案し、資格を持つ職員2名が講師として出向いた。 ▼地域で自主活動グループ「男の筋トレ」より、ふまねっとの体験会を開いてほしいとの要請があり、資格を持つ職員2名が出向いた。 ▼地域の不登校児に関する情報提供・相談があり、学校に出向いて対応相談を行った。 ▼近隣大学の生徒さんたちが、自分たちでもランタンフェスティバルを開催したいのでノウハウを教えてほしいとのことで、対応した。 ▼地域交流事業の参加者の方より、成年後見制度の申立てを家庭裁判所に提出したいので過去遡って領収書を発行してもらえないかとの相談があった。地域振興課に対応相談し、然るべき対応をした。 ▼以前、当施設で実施しその後独立した子育てサロンの利用者だった方から、同窓会的なものをやってほしいとの要望があり現在の子育てサロンと連携し「同窓会&交流会」を実施した。 ▼介護予防センターより厚別西東地区健康づくりサポートプロジェクトが10周年を迎えるので「ふれあい健康フェスタ」を共催で開催できないかとの相談があり、実施した。	▼どのような相談にもまずは傾聴し、必要に応じて各関係機関等と適切な対応を行った。 ▼聞いてもらえるという安心感を重視し、寄り添った対応を心がけた。 ▼近隣の公園等で転んで怪我をした、自転車の鍵をなくしたなど小学生が窓口に来ることも多いので普段からコミュニケーションをはかり、頼りやすい場所を意識した。	＜地域相談業務＞ 地域住民に寄り添った対応を行っている。																																																																														
▽ 利用件数等 <table><tr><th colspan="2"></th><th>R6年度実績</th><th>R7年度計画</th><th>R7年度実績</th></tr><tr><td rowspan="3">ホール</td><td>件数(件)</td><td>912</td><td>1,134</td><td>898</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>19,072</td><td></td><td>19,433</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>69.6%</td><td></td><td>72.0%</td></tr><tr><td rowspan="3">和室</td><td>件数(件)</td><td>1,093</td><td>718</td><td>1,048</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>8,232</td><td></td><td>7,726</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>52.6%</td><td></td><td>50.2%</td></tr><tr><td rowspan="3">集会室</td><td>件数(件)</td><td>1,167</td><td>1,155</td><td>1,282</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>14,655</td><td></td><td>14,981</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>54.2%</td><td></td><td>59.4%</td></tr><tr><td rowspan="3">実習室</td><td>件数(件)</td><td>485</td><td>517</td><td>433</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>3,168</td><td></td><td>2,832</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>43.9%</td><td></td><td>40.6%</td></tr><tr><td rowspan="3">計</td><td>件数(件)</td><td>3,657</td><td>3,524</td><td>3,661</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>45,127</td><td></td><td>44,972</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>54.5%</td><td></td><td>55.3%</td></tr></table>			R6年度実績	R7年度計画	R7年度実績	ホール	件数(件)	912	1,134	898	人数(人)	19,072		19,433	稼働率(%)	69.6%		72.0%	和室	件数(件)	1,093	718	1,048	人数(人)	8,232		7,726	稼働率(%)	52.6%		50.2%	集会室	件数(件)	1,167	1,155	1,282	人数(人)	14,655		14,981	稼働率(%)	54.2%		59.4%	実習室	件数(件)	485	517	433	人数(人)	3,168		2,832	稼働率(%)	43.9%		40.6%	計	件数(件)	3,657	3,524	3,661	人数(人)	45,127		44,972	稼働率(%)	54.5%		55.3%	▼貸室料の改定で活動の規模を縮小する利用者が増える予想したが、ほぼ変わらず継続利用となったため、件数はわずかながら増加した。 ▼予約が入った際には、ホール半面や隣の部屋の詳細な状況(音が邪魔にならないか、互いに不具合がないか等)に応じた調整を行い、できる限り皆さんが快適に利用できるよう配慮に努めた。 ▼講師や生徒の高齢化などにより、生徒が減っているサークルが増えている為人数は減少となっている。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><td colspan="4">高齢化や料金改定等の厳しい周辺環境の中、きめ細やかな配慮等により、満足度向上による利用促進に努めている点は、評価できる。利用促進につながる取組をさらに進めていただきたい。</td></tr></table>	A	B	C	D	高齢化や料金改定等の厳しい周辺環境の中、きめ細やかな配慮等により、満足度向上による利用促進に努めている点は、評価できる。利用促進につながる取組をさらに進めていただきたい。			
		R6年度実績	R7年度計画	R7年度実績																																																																												
ホール	件数(件)	912	1,134	898																																																																												
	人数(人)	19,072		19,433																																																																												
	稼働率(%)	69.6%		72.0%																																																																												
和室	件数(件)	1,093	718	1,048																																																																												
	人数(人)	8,232		7,726																																																																												
	稼働率(%)	52.6%		50.2%																																																																												
集会室	件数(件)	1,167	1,155	1,282																																																																												
	人数(人)	14,655		14,981																																																																												
	稼働率(%)	54.2%		59.4%																																																																												
実習室	件数(件)	485	517	433																																																																												
	人数(人)	3,168		2,832																																																																												
	稼働率(%)	43.9%		40.6%																																																																												
計	件数(件)	3,657	3,524	3,661																																																																												
	人数(人)	45,127		44,972																																																																												
	稼働率(%)	54.5%		55.3%																																																																												
A	B	C	D																																																																													
高齢化や料金改定等の厳しい周辺環境の中、きめ細やかな配慮等により、満足度向上による利用促進に努めている点は、評価できる。利用促進につながる取組をさらに進めていただきたい。																																																																																
▽ 不承認0件、取消し25件、減免0件、還付0件 ▽ 利用促進の取組 ▼利用条件緩和措置の周知(時間貸し利用) ▼センターだよりでの周知 ▼HPでの空き室情報提供 ▼来館者にサークル案内し、講座は縮小したチラシを手渡しして声をかけている。 ▼問い合わせに対し、丁寧に対応し利用目的を聞いた上で、用途に合わせた空き室状況を伝えた。必要に応じて1階に配置してある備品を2階に上げるなど柔軟な対応を心がけた。 ▼講座からサークルへ繋げ、貸室利用増へ繋げられるよう取り組んだ。R7年度は講座から2つのサークルが立ち上がり、その他の新規登録は68件あった。																																																																																

(6)付随業務	▽ 広報業務	▼厚別西センターだより～年12回発行 ▼厚別西地区連合町内会の回覧 ▼「広報さっぽろ」と冊子「札幌市からのお知らせ」にて、講座・地域交流事業の案内を掲載 ▼地域のミニコミ誌(れじおん、とらいふる、まんまる新聞)に掲載してPR。(とらいふるは現在は休刊中) ▼ホームページにて講座・事業のお知らせ。施設開放事業の中止、実施時間の変更等、最新情報を随時更新。 ウェブアクセシビリティへの取り組みとして、目の不自由な方への音声読み上げに支障がないよう、写真には補足説明を入れたり、曜日は省略しないで記載。また、文字の間にスペースを入れないように注意している。色弱の方も見やすいように色のコントラストにも注意し、見やすいような配色を心掛けている。 ▼インターネットシステムにて空き状況を確認する事ができる。 ▼館内掲示 センターだより、サークル紹介、各講座案内ポスター、札幌市の施策に関わる情報の掲載 ▼玄関ホールとロビー及び2階に掲示板にて講座、地域交流事業、図書室のお知らせ、地域の活動や官公庁主催、共催、後援事業の、近隣スポーツ少年団の団員募集ポスター、近隣学校の学校祭等のお知らせポスターなどを掲示している。 ▼ロビーに、サークル活動及び営利事業教室等の掲示板を設置。音楽、文学、こども関連、ボランティア、行政関係等コミュニティ活動及び生涯学習活動情報を掲出している。	▼次年度よりSNSでの周知を開始できるようにLINEアカウントを作成し、友達追加してもらえようHPや館内掲示にてPR。LINEに続いてInstagramも開設できるよう準備を進めた。 ▼館内掲示は、掲示場所を明確に分けているので利用者アンケートでも分かりやすく見やすいという感想をもらった。 ▼日々掲示物を確認し、情報が古いものがないかをチェックし利用者に正しく情報が伝わるよう務めた。	A B C D 次年度に向けて特にSNS発信という新たな広報ツールに挑戦する準備を行った姿勢を高く評価するほか、仕様書に定める水準を達成している。
	▽ 引継ぎ業務			
2 自主事業その他				
▽ 自主事業		▼ 古紙回収等自主事業 令和7年度 古紙回収収益 136,750円(古紙奨励金70,500円含む) 自動販売機 58,295円	▼新聞を取る人や、雑誌を購入する人が減り回収収益も低下している。 SNSやセンターだよりにて、利用の呼びかけを行った。 ▼自主事業は利用者の方が楽しんだり、快適に利用できるよう修繕や備品購入にあてている。	A B C D いずれも適正に実施されており、要求水準を達成している。
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等		▼夜間警備業務、電気設備点検、防災設備点検、空調設備、自動ドア点検、除排雪、エレベーター保守点検、除排雪、エレベーター保守点検の第三者委託は市内企業に委託している。 ▼地域の福祉施設2か所より月2回のパン販売を実施し、交流事業時も販売をお願いしている。 ▼イベント時にB型福祉事業所へパン販売を依頼。 ▼募金箱を設置し、盲導犬協会への募金活動に協力している。	▼市内企業や市内のB型企業の活動に貢献して繋げるよう心がけている。	

3 利用者の満足度				
▽ 利用者アンケートの結果			A	B
実施方法	▼実施期間 令和7年11月1日～11月31日 ▼設問数16 全対象者に対して同一質問で実施 ▼配布部数枚 412 部 回収部数 367 枚 回収率 89.1%			
結果概要 (自由記載)	下欄のとおり			
利用者からの意見・要望とその対応	①ホールの壁・集会室のじゅうたんを清掃してほしい 回答:お気づきの点がございましたら、その都度対応させていただきます。 ②ダンボールの回収庫がいつぱいの事が多い 回答:業者の回収が週1回となっております。入らない場合は、風除室に置いていただいておりますのでご理解とご協力をお願いいたします。 ③クーラーの設置 回答:建物の構造上、大掛かりな工事になるため、検討にお時間をいただきます。ホール以外は、エアコン・簡易エアコンを設置しております。 ④フリーWi-Fiがほしい 回答:貸室利用の方には、Wi-Fiの貸出がございますので その旨事務所にお申し付けください。 ⑤洋式トイレを増やしてほしい(26件) 回答:洋式トイレへの変更は、大掛かりな工事となるため、検討にお時間をいただきます ⑥トイレにペーパータオルがほしい(2件) 回答:トイレ備品につきましては、衛生面などを考慮し、検討させていただいております ⑦トイレの洗面所の水の出が悪い 回答:ご不便をおかけし申し訳ございません。可能な限り調整いたします。 ⑧トイレ使用中のスイッチ音がすぐ止まる 回答:電池交換いたしました。	▼アンケート結果は、誰でも閲覧できるように一定期間館内に掲示している。 ▼すべての記載内容に真摯に向き合い、丁寧な回答を心がけた。 ▼すぐに改善・対応できるものに関しては結果公開前に迅速に対応した。 ▼自由記載の記述が今年度は多く、利用者からの多様なニーズが伺えた。 ▼和式トイレの不便さを訴える件数が多かった。		
				接客、清掃状況等で利用者から高い評価を得ており、要求水準を達成している。

⑨・駐車場が狭い(19件) ・出入口が1か所で利用しづらい 回答:限られたスペースの為、ご迷惑をおかけしておりますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします ⑩文化祭の見学者が少ない・内容を見直す時期かも 回答:ご意見を参考に検討させていただきます。 ⑪・センターの都合で文化祭を短縮しないでほしい ・展示だけでも最低2日やってほしい 回答:ご意見を参考に検討させていただきます。 ⑫・無料開放でミニバレーを実施してほしい(2件) ・卓球開放を土曜日にしてほしい ・昼間の開放を月1度はしてほしい 回答:無料開放は、有料利用の方に弊害がないよう空き時間や曜日を調整しております。年1回見直しをしておりますので、何卒、ご理解の程お願い致します。 ⑬・バレーボールのポールを直してほしい ・バレーボールの道具が揃っていない(アンテナ・支柱カバー) 回答:館内備品に関しましては、利用頻度等により順次交換させていただいております。何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。 ⑭筋トレ器具を常時使用できたらよい 回答:空き室の関係で、毎週火曜の午前中とさせていただきます。 ⑮・サークルや講座を増やしてほしい ・燻製づくり講座・パソコン教室をやしてほしい ・料理やパソコン教室をやしてほしい 回答:今後の企画の参考にさせていただきます。 ⑯・大きな音を出すサークルの使用を考えてほしい ・うるさくて話ができない 回答:お隣に音を出すサークルさんが入っている場合はご予約時にお声をかけさせていただき、出来る限り調整させていただいております。様々なご利用目的があるため何卒ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。 ⑰サークル合同コンサートの実施 回答:ご意見を参考に検討させていただきます。 ⑱利用料金を安くしてほしい(8件) 回答:貸室料は札幌市で一律で定められておりますので ご理解のほどお願いいたします。 ⑲地域に密着した利用しやすい施設運営を望む(3件) 回答:ご意見を真摯に受け止め、地域の皆様により一層密着した運営を心掛けていくよう努めてまいります。 ⑳気軽に立ち寄れる楽しい所という雰囲気がほしい 回答:地域の皆様にお気軽にご利用いただけるような雰囲気作りを心掛けていきます。 ㉑花壇の手入れをし、季節の花が観られるようにするとよい 回答:施設内花壇は、グリーンボランティアさんと共に手入れを行っております。皆様に楽しんでいただけるよう、今後も努めてまいります。	▼文化祭に関しては、出演希望全サークルにアンケートをとり、その結果を元に開催方法を協議している。参加サークルの希望と集客や作品数のバランスをとった内容としている。 ▼備品が老朽化しているので、アンケートには記載されていない些細な不具合は度々窓口に声掛けがある。対応できないことも増えてきているので、利用者が安全に利用できるか不安に思う場合は速やかに撤去や使用禁止の対応をとっている。
--	--

②②ゴミ箱を置いてほしい(4件)

回答:衛生上・防犯上の理由で設置しておりません。必要に応じてゴミ袋をお渡しますので、事務室にお申し出ください。

②③公共交通機関が不便

回答:大変ご不便をおかけして申し訳ございません。最寄りのバス等をご利用ください。

②④館内が少々寒い

回答:各部屋で暖房調節ができますのでご確認ください。
ロビーなどは、外からの出入りがありますので、ご理解お願いします。

②⑤図書室の新刊が少ない・予約しても数年待ちの状況

回答:札幌市内全図書館・室での調整により購入冊数や予算が決められております。ご不便おかけしておりますが何卒ご理解の程よろしくお願いいたします。

②⑥図書室を広くし、仕切り付き閲覧机を増やしてほしい

回答:図書室の棚は備え付けで移動ができなくなっております。何卒ご理解の程よろしくお願いいたします。

②⑦図書室の本(旅行誌など)が古い

回答:他館から新しいものをご予約でお取り寄せもできますので、職員にお声がけください。

②⑧館内(トイレ)清掃がきれいで気持ちいい(10件)

回答:お褒めのお言葉ありがとうございます。今後も快適にご利用いただけますよう努めてまいります。

②⑨いつも楽しく快適に利用している(5件)

回答:いつもご利用いただきありがとうございます。

③⑩勉強スペースが利用できて良い

回答:混雑時にはテーブルをお出ししますので、今後とも是非ご利用ください。

③⑪実習室の食器・調理器具が揃っていて良い

回答:今後とも是非ご活用ください。

③⑫文化祭やランターンを楽しみにしている

回答:皆様に楽しんでいただけるよう努めてまいります。

③⑬・様々なイベントを考える企画力・実行力に敬意を表する
・イベントに工夫があり楽しめる

回答:今後も皆様のご意見を参考に、様々なイベントを開催していきたいと思っております。

③⑭チラシの配置が大変良い

回答:今後も見やすいような掲示を心掛けていきます。

③⑮職員の親切な対応がうれしい

回答:お褒めのお言葉ありがとうございます。今後とも親切丁寧な対応を心掛けていきます。

▼結果概要(各項目の満足度目標:80%)

▼積極(Q.職員の言葉づかいや接客対応はいかがですか?)

回 答	回答数	比率%
①とても良い	131	36%
②良い	159	44%
③普通	69	19%
④あまり良くない	0	0%
⑤悪い	0	0%

▼図書事業(Q. 図書室を日頃どの位利用になっていますか?)

回 答	回答数	比率%
①週数回	22	6%
②月数回	106	30%
③ほとんど利用しない	224	64%

▼貸室事業(Q. 集会室、和室、ホール、図書室、ロビー、トイレなどの備品や設備等の管理状態はいかがですか?)

回 答	回答数	比率%
①とても良い	58	18%
②良い	159	48%
③普通	105	32%
④あまり良くない	8	2%
⑤悪い	1	0%

▼交通手段(Q. センター利用の際の交通手段は何ですか?)

回 答	回答数	比率%
①自動車	226	53%
②公共交通機関	25	6%
③自転車	37	9%
④徒歩	139	32%
⑤その他	3	1%

▼清掃(Q. 館内の清掃状況についてお聞きます)

回 答	回答数	比率%
①とても良い	109	31%
②良い	180	52%
③普通	58	17%
④あまり良くない	1	0%
⑤悪い	0	0%

▼また、厚別西地区センターをご利用したいと思いますか?

回 答	回答数	比率%
①ぜひ利用したい	72	21%
②利用したい	99	29%
③どちらかといえば利用したい	76	22%
④どちらでもない	89	26%
⑤利用したくない	3	1%

▼常に利用者の方に寄り添った接遇を心掛けた。接遇研修などで、職員のスキルアップも図った。

▼備品に関しての要望を受け、利用頻度が高い麻雀卓の張替を利用者還元として行った。

▼バスの減便などで不便を訴える声が増えてきている。

▼築年数33年を超え、劣化や修繕が必要な箇所が増えているが、快適に利用していただけるよう日々清潔に保てるよう清掃を入念に行っている。また、館内点検を日常的に実施している。

▼多くの利用者に継続して利用したいと思っていただけるよう、創意工夫や誠意ある対応を日々心掛けていく。

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R7年度計画	R7年度決算	差(決算-計画)
収入	37,321	39,798	2,477
指定管理業務収入	37,131	39,603	2,472
指定管理費	26,528	27,112	584
利用料金	8,931	10,904	1,973
その他	1,672	1,587	▲ 85
自主事業収入	190	195	5
支出	37,321	39,603	2,282
指定管理業務支出	37,131	39,603	2,472
自主事業支出	190		▲ 190
収入-支出	0	195	195
自主事業による利益還元	190	180	▲ 10
法人税等			0
純利益	-190	15	205

【参考】

指定管理業務による利益還元

R7年度決算

0

内容

下記のとおり

▼講座や行事は参加しやすい費用に設定しつつ、大幅な赤字にならないよう設定した。

▼貸室料の改定により収入への影響が予想されたが、現行通の利用がほとんどだったため、想定以上の増収となった。

▼センター正面の花壇内の木を伐採した。経費が高額だったため、職員とボランティアで伐採し経費削減に務めた。

A B C D

経費節減や自主事業の利益還元に努めており、適切に管理運営を行っていると思われる。

▽ 説明

▼予算に対し、上回ることができた。指定管理費は、光熱費補填・賃金スライド手当・料金改訂補填金が増加された。R7.7月より貸室料が改訂されたため、想定以上の収入増となった。

▼自主事業は、利用者からの声のうち優先度が高いものから、和室窓鍵修繕・ロビーのチェア交換、麻雀卓張替、講演会実施することで利用者に利益還元した。その他、細かい要望には都度答えられるよう動いている。お花を楽しみにしている方が多いので、フリーマーケットの出店料は、センター周辺の観賞用の寄せ植えや土や肥料の購入などにあてている。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

▼労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団は、全国に拠点を持つ協同経営の組織であるため、単独の事業所・現場の経営だけではなく、相互に安定経営を維持できるように連携しており改善も行なっている。

適

不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

▼個人情報について市の条例及び法人の個人情報保護法規定通り適切に処理した。

▼情報公開について開示要求があった場合は速やかに応じると共に行政手続条例及びオンブズマン条例についても条例に従い適切に対応処理する。

▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係者を相手に契約を行わなかった。

適

不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
1) 統括管理業務 地域課題へ関心意欲を助長するよう、地域懇談会を開催した。また、当施設での活動を通して交流を深め、活動の幅を広げる事へ繋がられた。利用者の声を拾い、出来るだけ反映するよう務めた。職員全員で経営状況を共有し、無駄がなく健全な経営・運営をするよう務めた。町内の防災研修や会議に積極的に出席し、地域の方と共に防災活動の連携を強化した。 2) 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上 個人面談や産業医による定期的な研修、健康診断やストレスチェックなどを実施することで、職員が心身共に健康でいられる労働環境を整えた。 3) 施設・設備等の維持管理業務 利用者の安全確保の為、警察に協力を仰ぎ職員の実践を交えた防犯訓練を実施し、館内の防犯対策も強化した。倒木の恐れがある木の伐採等館内外の安全維持管理に努めた。地域振興課と連携を図りながら修繕等の優先順位を見極め、慎重に対応することができた。 4) 事業の計画・実施業務 利用者の声を反映させた講座や地域交流事業を多く実施した。ニーズに合わせて、講座と地域交流事業のバランスを検討し、様々な世代向けに幅広い内容で実施した。 5) 施設利用に関する業務 積極的な貸室利用への働きかけにより、稼働率を前年度より0.9%上昇させることができた。 6) 付随業務 地域広報誌の休止や掲載枠の減少により広報活動の幅が狭まってきているため、HPは迅速に更新し最新の情報を届けられるよう務めた。また次年度よりSNS配信ができるようアカウント作成や登録呼びかけなど、配信に向けて準備を進めることができた。 7) その他 地域各団体との関わりを深めるよう務めた結果、講師依頼や共催行事等の相談が増えてきた。	▼現代のニーズに合わせてSNS発信に力を入れ、より広く周知できるよう工夫していく。現在ニーズが少ない若い世代へのアプローチにも繋げていく。 ▼まちづくり講座などを積極的に開催し、地域住民の絆を強化し、自主性を助長し、地域全体で安心できるまちづくりを目指す。 (地域全体で見守り、安心して子育てができる地域づくりを目指す取組や関心を促すきっかけづくりなど) ▼「地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する」という設置目的を改めて念頭におき、厚別西地区センターとしての役割を全うできるよう意識を高く持ち、しっかりと責任を持って管理運営を務める。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
区民講座や地域交流事業においては市民のニーズに応えた事業を行っており、利用者から高い評価を得ている。特に厚西シニアカレッジは生涯学習に関する市民の自主活動や交流に繋がっており、適切な支援を行っているといえる。また、次年度に向けてSNS発信の準備を行うなど新たな広報ツールを模索する姿勢は高く評価できる。引き続き、市民のニーズに沿った取り組みを実施し、施設稼働率の向上に取り組んでいただきたい。	引き続き、幅広い世代の利用者獲得及び継続性のある利用に繋がるような取り組みを検討・実施していただきたい。